

愛情物語

The Eddy Duchin Story

観賞日 2019・2・11

制作 1956年 米 上映時間 124分
監督 ジョージ・シドニー
撮影 ハリー・ストラドリング
演奏 カーメン・キャバレロ
出演 タイロン・パワー (エディ・デューチン)
キム・ノヴァック (マージョリー)
ヴィクトリア・ショウ (チキータ)
ジェームズ・ホイットモア (ルー)



【あらすじ】

1930年頃のニューヨーク。ピアニストのエディは、ボストンから一旗揚げようと勇んでやって来た。楽団スポンサーのマージョリーのおかげで正式採用されたエディ。互いにないものを持つ二人はいつしか魅かれあい結婚する。ピアニストとして名声を博しバンドリーダーとなるエディ。プライベートでも若く美しい妻を手にして順風満帆の道を歩む。

幸福の絶頂にいたエディを突如襲った悲劇。妻のマージョリーが長男ピーターの出産直後に亡くなったのだ。マージョリーの死を忘れるために仕事に没頭するエディ。いつしかピーターとの間に溝ができて。やがて戦争が始まりエディも戦場に駆り出される。終戦を迎え、自宅に戻りピーターとの久々の対面。エディ不在中に親代わりとなった英国人女性チキータからピーターのことを聴き、自らを悔い改めるエディ。40歳を過ぎてエディの身体に変調が。ピーターとの親子関係もチキータの助言で修復され、チキータとの愛が芽生え二人は結婚。人生で二度目の幸福を味合うエディであったが、余命いくばくもないことを知らされ・・・。

【解説】

■ポイント

- ・エディ・デューチンの波乱に満ちた生涯を描いた音楽伝記映画
1909年(1910年)生まれ 1951年 白血病で死亡
1930年代～40年代にかけて活躍したピアニスト、バンドリーダー
- ・映画の中でエディが一番幸せだった時は何時か？

■見どころ

- ・ピアノ演奏
演奏は主役のタイロン・パワー。
音はエディ・デューチンに私淑していたカーメン・キャバレロによるもの
- ・テーマ曲
全編に流れるテーマ曲、To Love Againはショパンのノクターン2番をアレンジしたもの